

DREAM for your future

夢のたねで未来絵

このメッセージは、子どもたちが持っている未来への無限の可能性を「夢のたね」と呼んでおり、その子どもたちの「夢のたね」の芽を未来に伸ばしてあげられるようにする保育園のメッセージとなっています。「未来へ」ということで、私たちは「夢のたね」の可能性が成長につながるよう水や栄養を与え、子どもたちの「未来へ」つなげられるよう、そして未来に続く絵、つまり「未来絵(みらいえ)」という絵を、白いキャンバスに自分色のカラー付けで描ける子に成長できるような保育を目指すことを意味しています。

「未来へ続く」と「未来への絵」という二つの意味を併せ持つ「未来絵」という言葉は、子どもたちだけでなく、菊美会職員全員にも前向きの姿勢で、自分の得意分野で「未来絵」とつなげて欲しく、これが私たち菊美会の「夢のたねで未来絵」につながります。

経営理念

私たちは若い世代を応援し、
思いやりがあり元気で明るく頑張る
子どもたちを育て
未来へつなげていきます

経営ビジョン

子どもがあふれ
人と自然のふれあう社会づくりの為に
できるところから取り組みます

保育士の1日

菊美会の保育園ではたらく保育士の一日の仕事内容を見てみましょう!

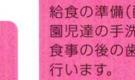
園児登園開始

子どもたちが登園してきます。



園児登園完了朝の会

園児が揃ったところで全員で朝の会。本格的に1日の保育が始まります。



給食

給食の準備(配膳)に園児達の手洗いとうがい、食事後の歯磨きなどを行います。

午睡

午睡の用意をして、寝付くまで読み聞かせなどをします。園児が寝てからは保育日誌、連絡ノートなどを書きます。



降園開始時間

みんなが揃っている段階で帰りの挨拶。徐々にお迎えが来るので今日の様子を保護者に伝え、連絡ノートも渡します。

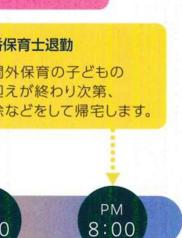


延長保育開始

異年齢保育の中で楽しく過ごします。

遅番保育士退勤

時間外保育の子どものお迎えが終わり次第、掃除などをして帰宅します。



ごあいさつ

菊美会



昭和27年(1952年)の戦後復興期に、創設者野原キクが「地域の働く母親の為に」との思いから、自宅を開放したのが、「菊美会」の保育園の始まりです。創設者の思いを引き継いで、現在菊美会で6園を運営し、6000名近くの子どもたちが日本の未来を背負っていく子どもたちとして成長し羽ばたいています。

保育士をはじめ職員は皆、子どもたちに豊かな愛情を注ぎ、一人ひとり違った個性を大切にし、同時にその個性の中にある無限の可能性を保育の中での取り組みを通して引き出し、励ましてあげることで、私たちが目指している子どもたちの持っている無限の可能性(夢のたね)を未来へ伸ばす「夢のたねで未来絵(みらいえ)」へと繋げられるような保育士そして保育園でありたいと思っています。また保育園はそれぞれのライフ・ワークのバランスを考えながら、安心して長く働くことができるような職場環境作りを心がけています。是非私たちのメンバーになり、ともに活躍して頂きたいです。

社会福祉法人菊美会 理事長 坂田 衛